

6. インターネットの利用

(1) インターネットの利用状況

問 15 あなたは、過去1年間に、仕事や学業以外で、インターネットを利用したことがありますか。(〇は1つ)

「ある」は7割半ば

インターネットの利用状況については、「ある」(75.8%)は7割半ばとなっている。一方、「ない」(22.8%)は2割を超えている。

図6-1-1 インターネットの利用状況[全体]

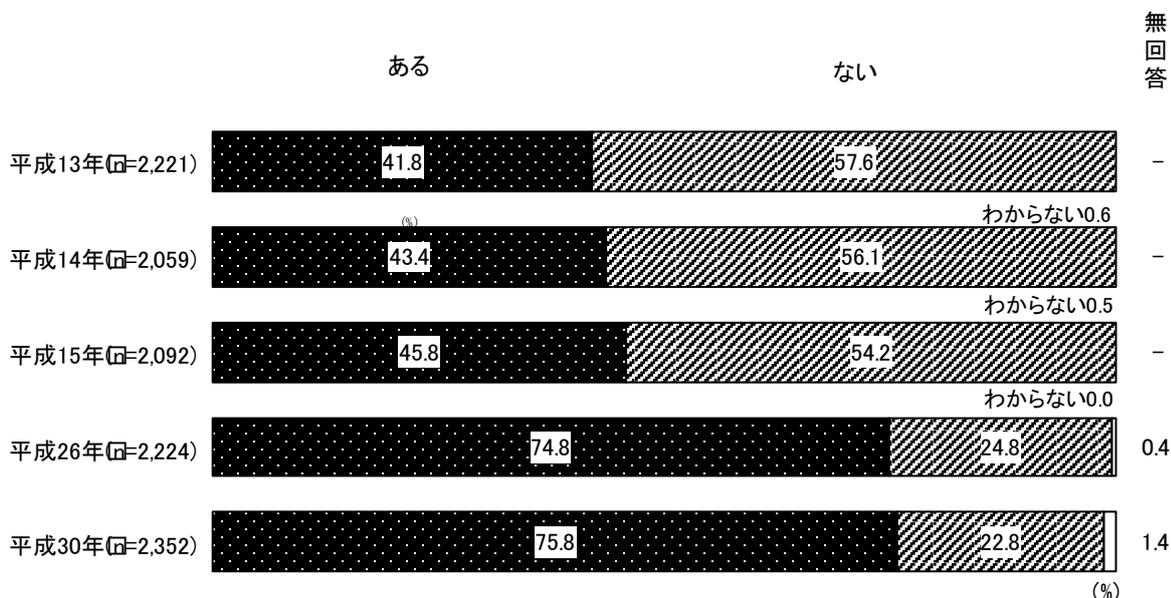


① インターネットの利用状況 [経年変化]

「ある」は横ばい傾向

経年変化をみると、前回の平成26年調査から「ある」は1.0ポイント増加の横ばい傾向となっている。

図6-1-2 インターネットの利用状況 [経年変化]



(注1) 平成15年調査までは選択肢が以下のように異なる。

「ある」→「利用している」

「ない」→「利用していない」

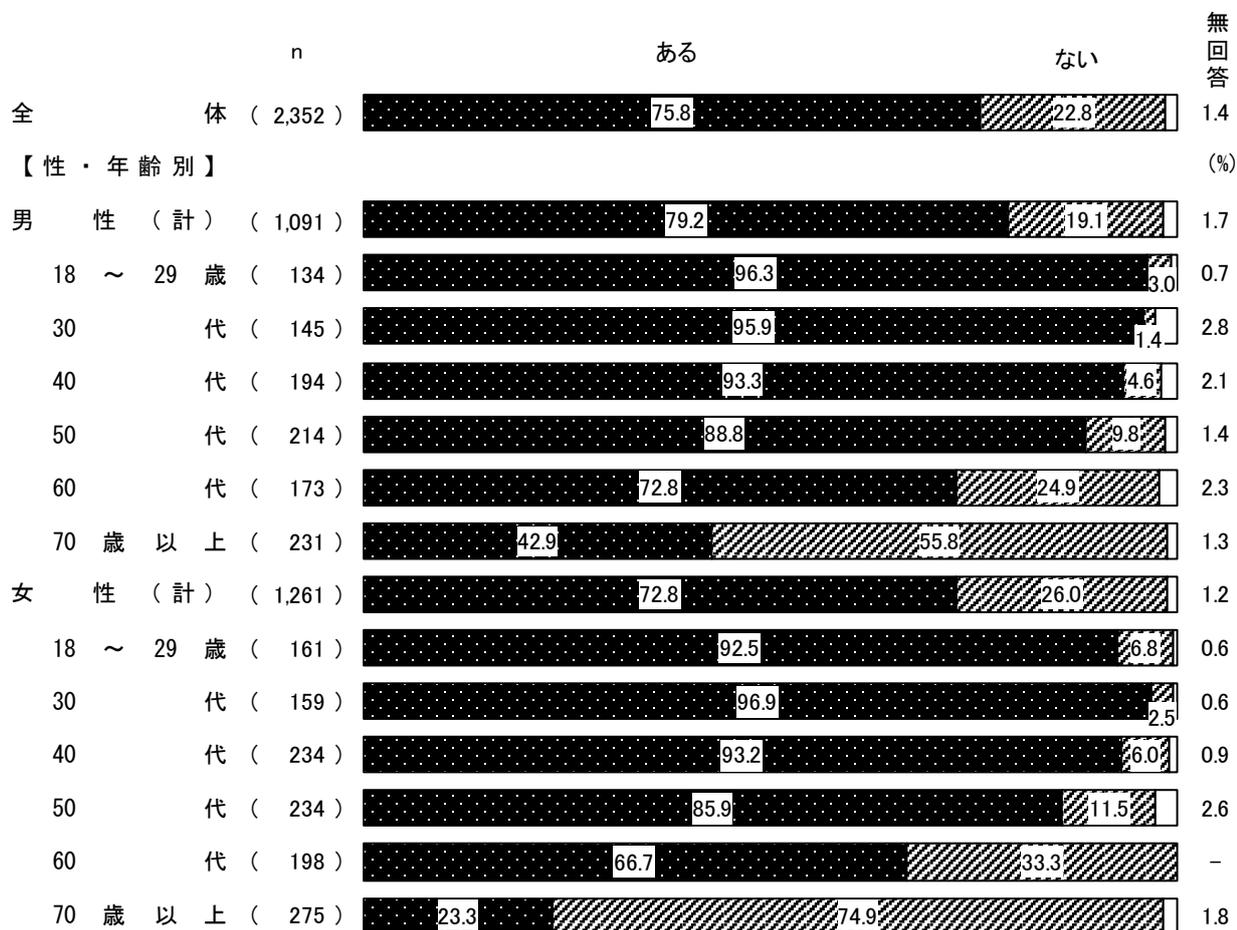
(注2) 平成15年調査までは選択肢に「わからない」を加えていた。

②インターネットの利用状況【性・年齢別】

「ある」は男女ともおおむね年齢が高いほど少ない

性・年齢別にみると、「ある」は男女ともおおむね年齢が高いほど少なくなっている。

図6-1-3 インターネットの利用状況【性・年齢別】



(2) インターネットの利用内容

(問15で「ある」と答えた方に)

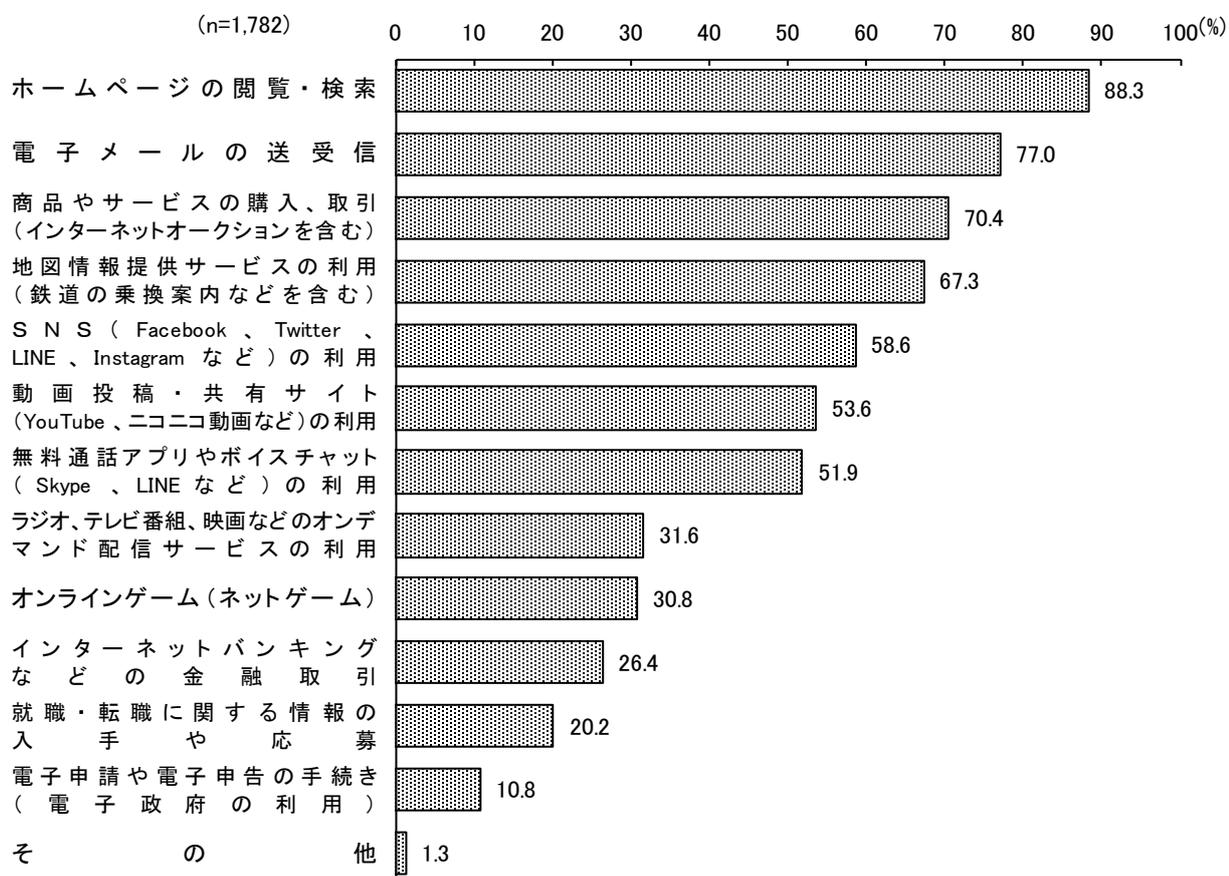
問15-1 どのようなことに利用しましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。

(○はいくつでも)

「ホームページの閲覧・検索」は9割近く

インターネットの利用内容については、「ホームページの閲覧・検索」(88.3%)が9割近くと最も多く、次いで、「電子メールの送受信」(77.0%)、「商品やサービスの購入、取引(インターネットオークションを含む)」(70.4%)などの順となっている。

図6-2-1 インターネットの利用内容[全体] (複数回答)



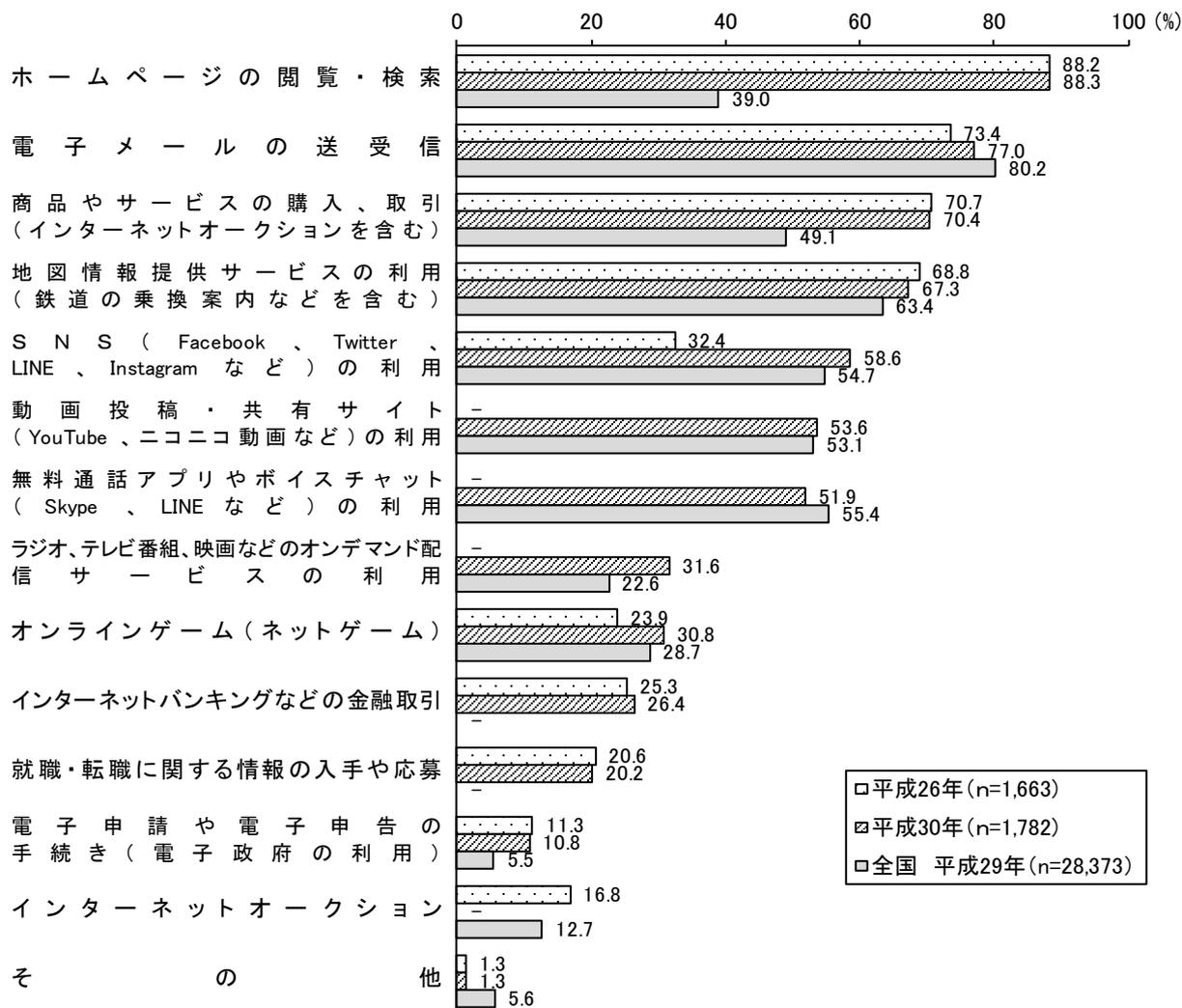
①インターネットの利用内容〔経年変化〕（複数回答）

「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」は26.2ポイント増加

経年変化をみると、前回の平成26年調査（※1）から「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」（58.6%）は26.2ポイントの増加となっている。また、平成29年総務省「通信利用動向調査（※2）」における全国の「ラジオ、テレビ番組、映画などのオンデマンド配信サービスの利用」（22.6%）と比べると、9.0ポイント高くなっている。

（※2）全国の満20歳以上の世帯構成員がいる世帯、40,592世帯を対象（回収数16,117世帯）

図6-2-2 インターネットの利用内容〔経年変化〕（複数回答）



※1 平成26年調査は、選択肢の一部が以下のように異なる。

「商品やサービスの購入、取引（インターネットオークションを含む）」→「商品やサービスの購入、取引」

「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」→「ソーシャルメディアの利用（SNSや電子掲示板など）」

※2 「通信利用動向調査」は、選択肢の一部が以下のように異なる。

「ホームページの閲覧・検索」→「ホームページ・ブログの開設・更新又は閲覧・書き込み」

「商品やサービスの購入、取引（インターネットオークションを含む）」→「商品やサービスの購入、取引」

「地図情報提供サービスの利用（鉄道の乗換案内などを含む）」→「地図・交通情報の提供サービス（無料のもの）」

「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」→「ソーシャルネットワーキングサービスの利用」

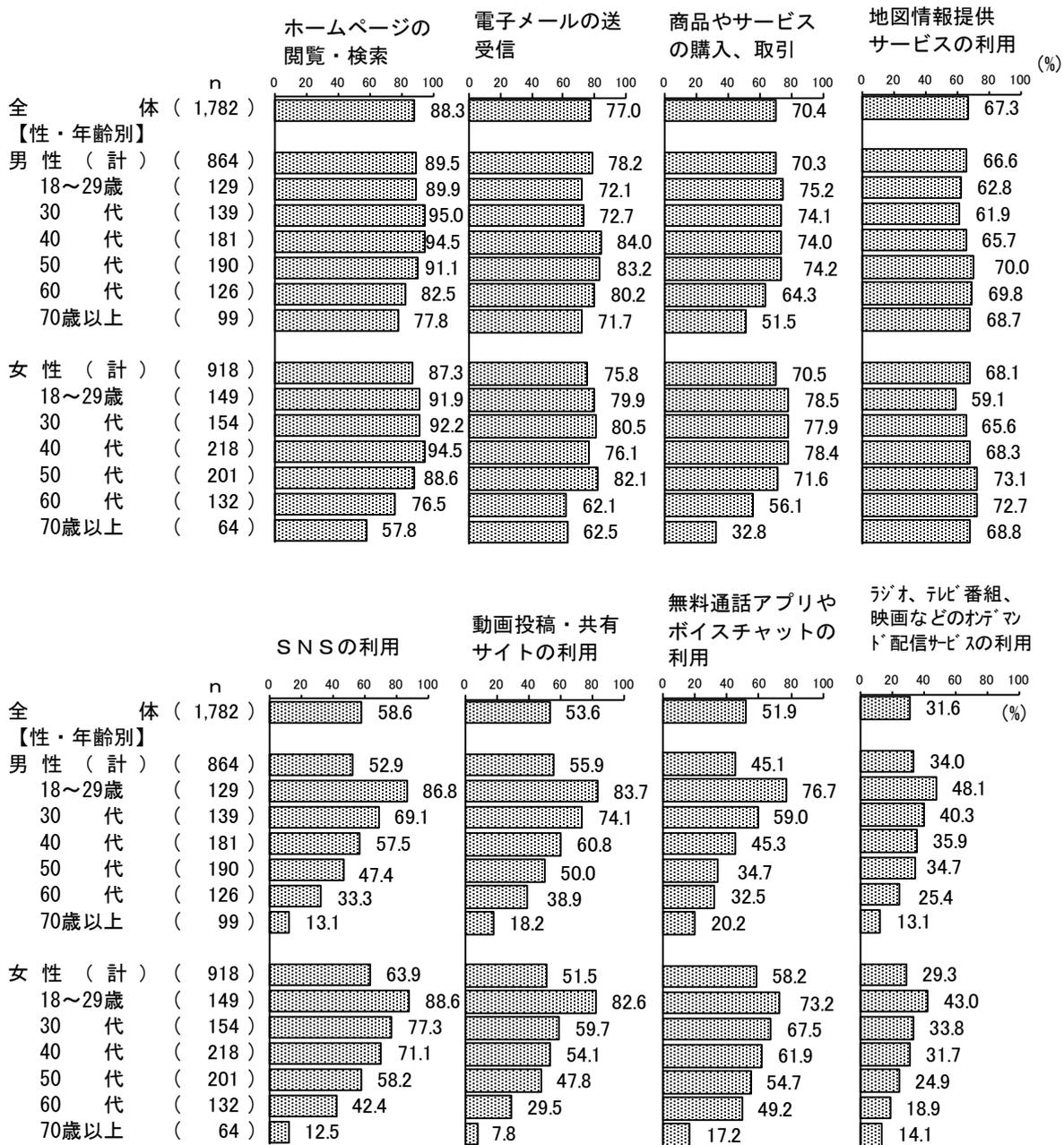
「電子申請や電子申告の手続き（電子政府の利用）」→「電子政府・電子自治体の利用」

また、上図は本調査と比較可能な項目のみ掲載した。

②インターネットの利用内容〔性・年齢別〕（複数回答）

「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」は男女とも年齢が高いほど少ない
 性・年齢別にみると、「SNS（Facebook、Twitter、LINE、Instagramなど）の利用」、「動画投稿・共有サイト（YouTube、ニコニコ動画など）の利用」、「無料通話アプリやボイスチャット（Skype、LINEなど）の利用」、「ラジオ、テレビ番組、映画などのオンデマンド配信サービスの利用」は男女とも年齢が高いほど少なくなっている。

図6-2-3 インターネットの利用内容〔性・年齢別（上位8項目）〕（複数回答）



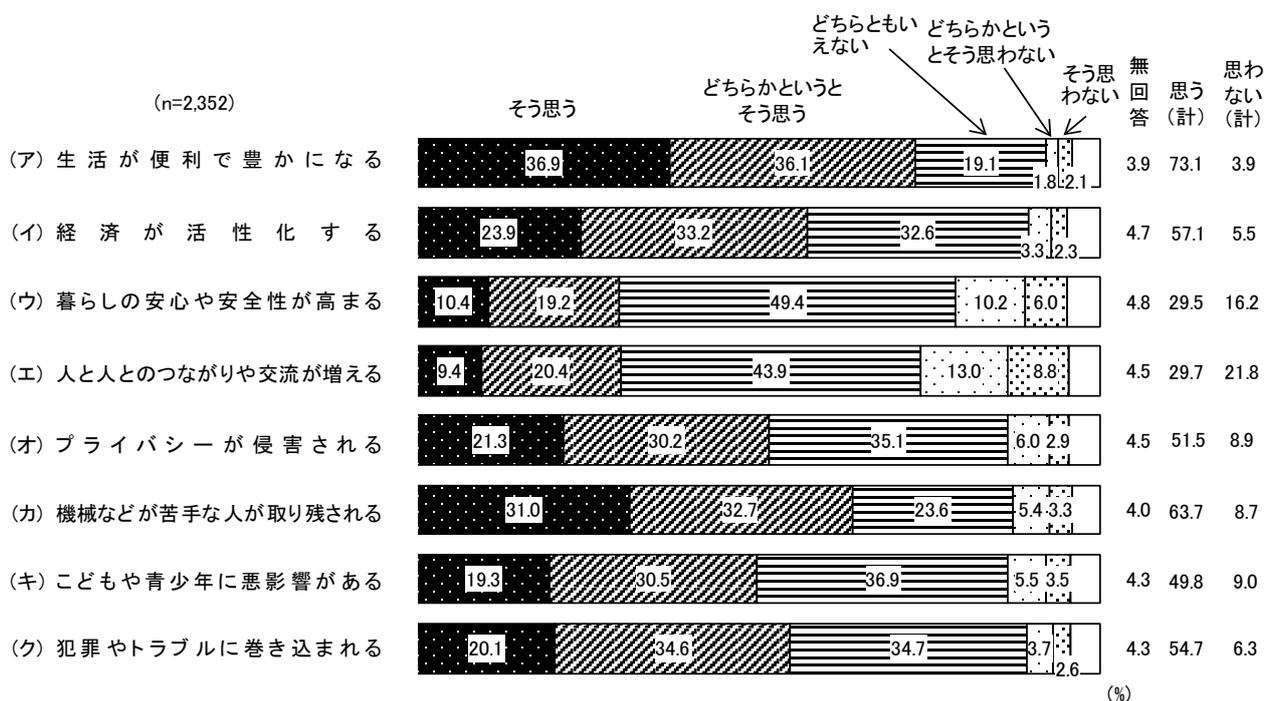
(3) 情報化の進展による影響

問 16 あなたは、情報化の進展が、暮らしに対してどのような影響を及ぼすと思いますか。
(○はそれぞれ1つ)

『思う(計)』は《生活が便利で豊かになる》で7割半ば

情報化の進展による影響について、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『思う(計)』は、《生活が便利で豊かになる》(73.1%)で7割半ば、《機械などが苦手な人が取り残される》(63.7%)で6割半ばとなっている。

図6-3-1 情報化の進展による影響[全体]



①情報化の進展による影響（ア）生活が便利で豊かになる〔経年変化〕

『思う（計）』は1.7ポイント減少

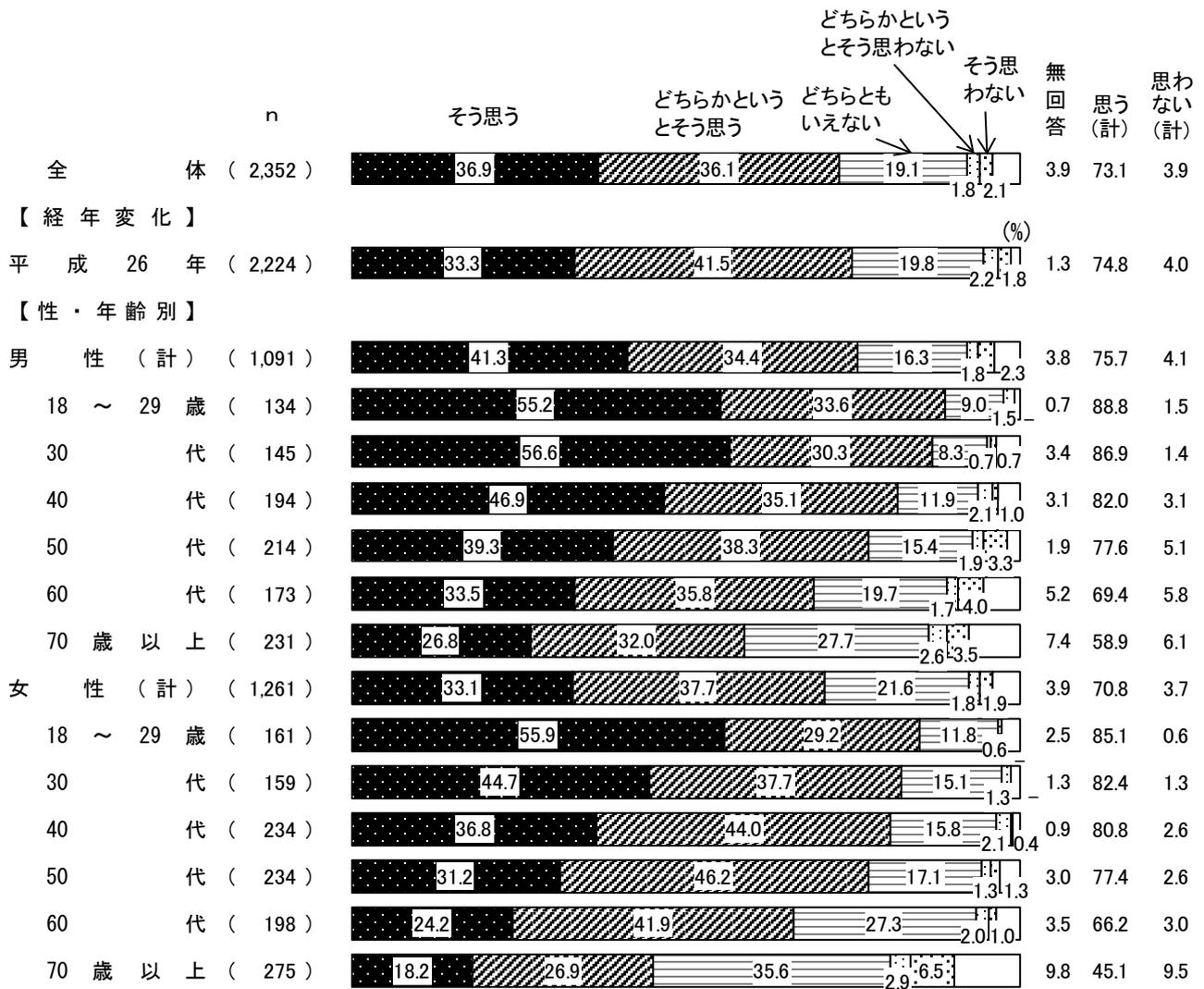
経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は1.7ポイント減少している。

②情報化の進展による影響（ア）生活が便利で豊かになる〔性・年齢別〕

『思う（計）』は男女とも年齢が高いほど少ない

性・年齢別にみると、『思う（計）』は男女とも年齢が高いほど少なくなっている。

図6-3-2 情報化の進展による影響（ア）生活が便利で豊かになる〔経年変化、性・年齢別〕



③情報化の進展による影響（イ）経済が活性化する〔経年変化〕

『思う（計）』は0.9ポイント増加

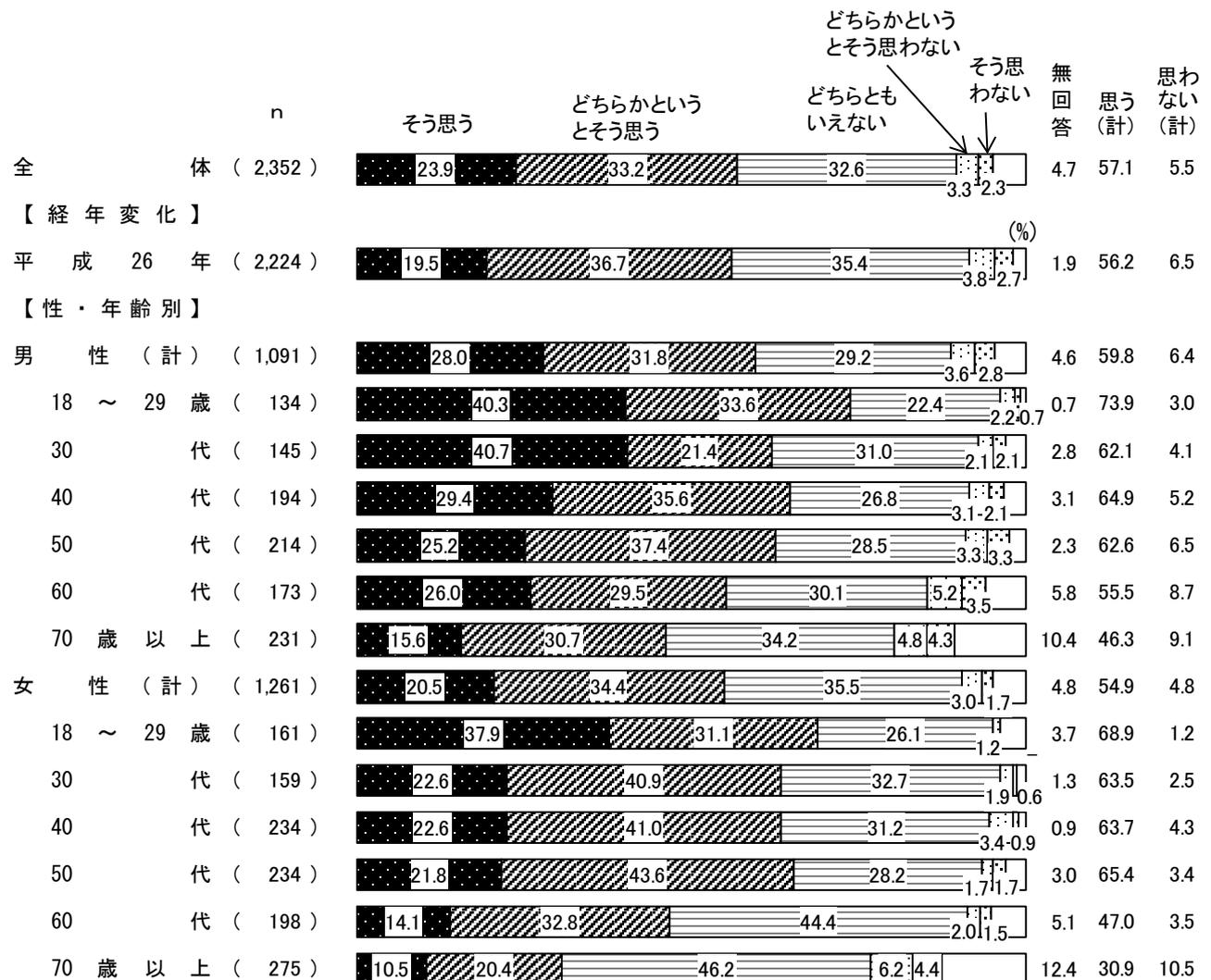
経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は0.9ポイント増加している。

④情報化の進展による影響（イ）経済が活性化する〔性・年齢別〕

『思う（計）』は男性18～29歳で7割半ば

性・年齢別にみると、『思う（計）』は男性18～29歳（73.9%）で7割半ば、女性18～29歳（68.9%）で7割近くと多くなっている。

図6-3-3 情報化の進展による影響（イ）経済が活性化する〔経年変化、性・年齢別〕



⑤情報化の進展による影響（ウ）暮らしの安心や安全性が高まる〔経年変化〕

『思う（計）』は4.3ポイント減少

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は4.3ポイント減少している。

⑥情報化の進展による影響（ウ）暮らしの安心や安全性が高まる〔性・年齢別〕

『思う（計）』は男性18～29歳で4割を超える

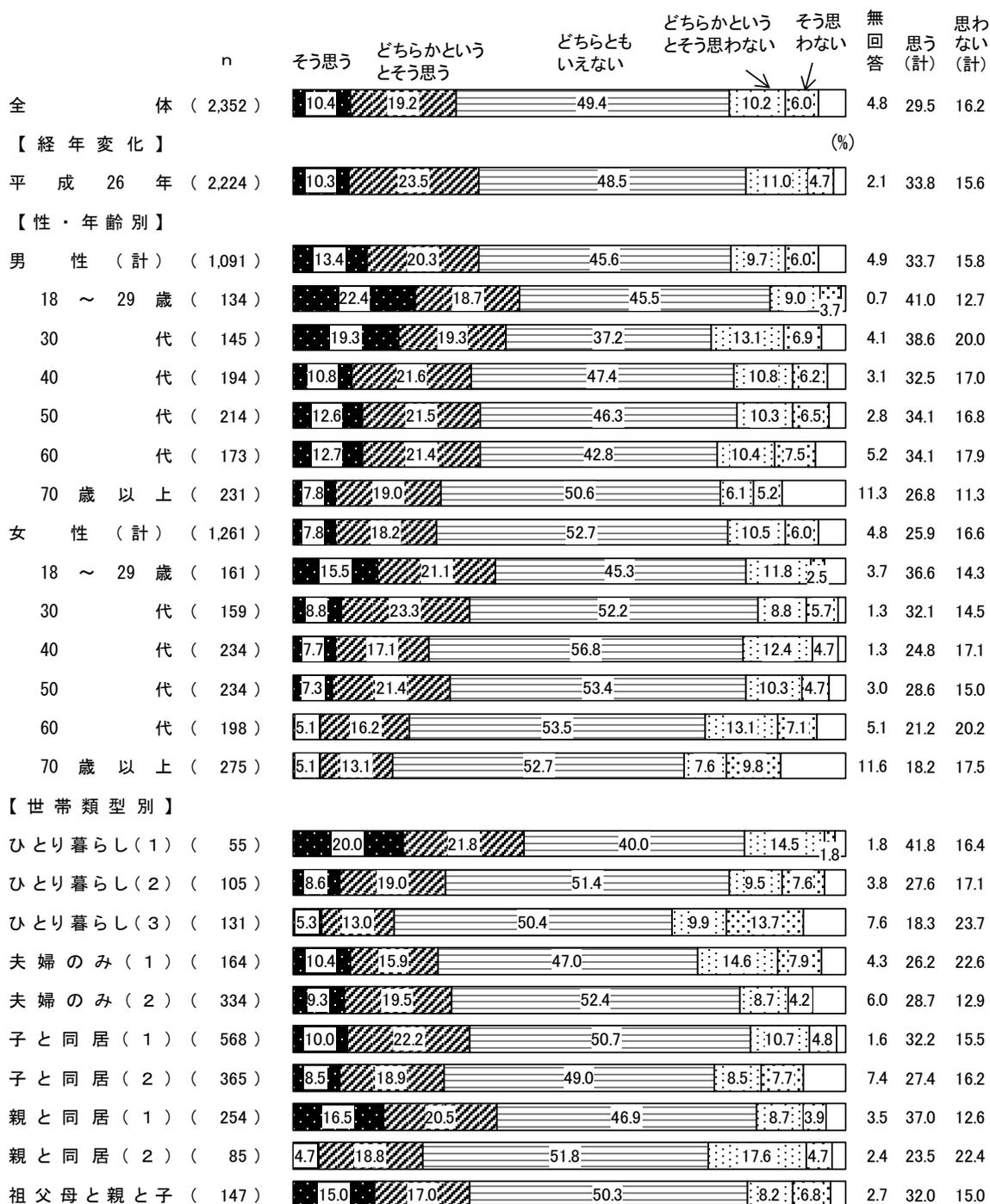
性・年齢別にみると、『思う（計）』は男性18～29歳（41.0%）で4割を超えて多くなっている。

⑦情報化の進展による影響（ウ）暮らしの安心や安全性が高まる〔世帯類型別〕

『思う（計）』はひとり暮らし（1）で4割を超える

世帯類型別にみると、『思う（計）』はひとり暮らし（1）（41.8%）で4割を超えて多い。

図6-3-4 情報化の進展による影響（ウ）暮らしの安心や安全性が高まる〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑧情報化の進展による影響（エ）人と人とのつながりや交流が増える〔経年変化〕

『思う（計）』は1.1ポイント増加

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は1.1ポイント増加している。

⑨情報化の進展による影響（エ）人と人とのつながりや交流が増える〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性18～29歳で5割半ば

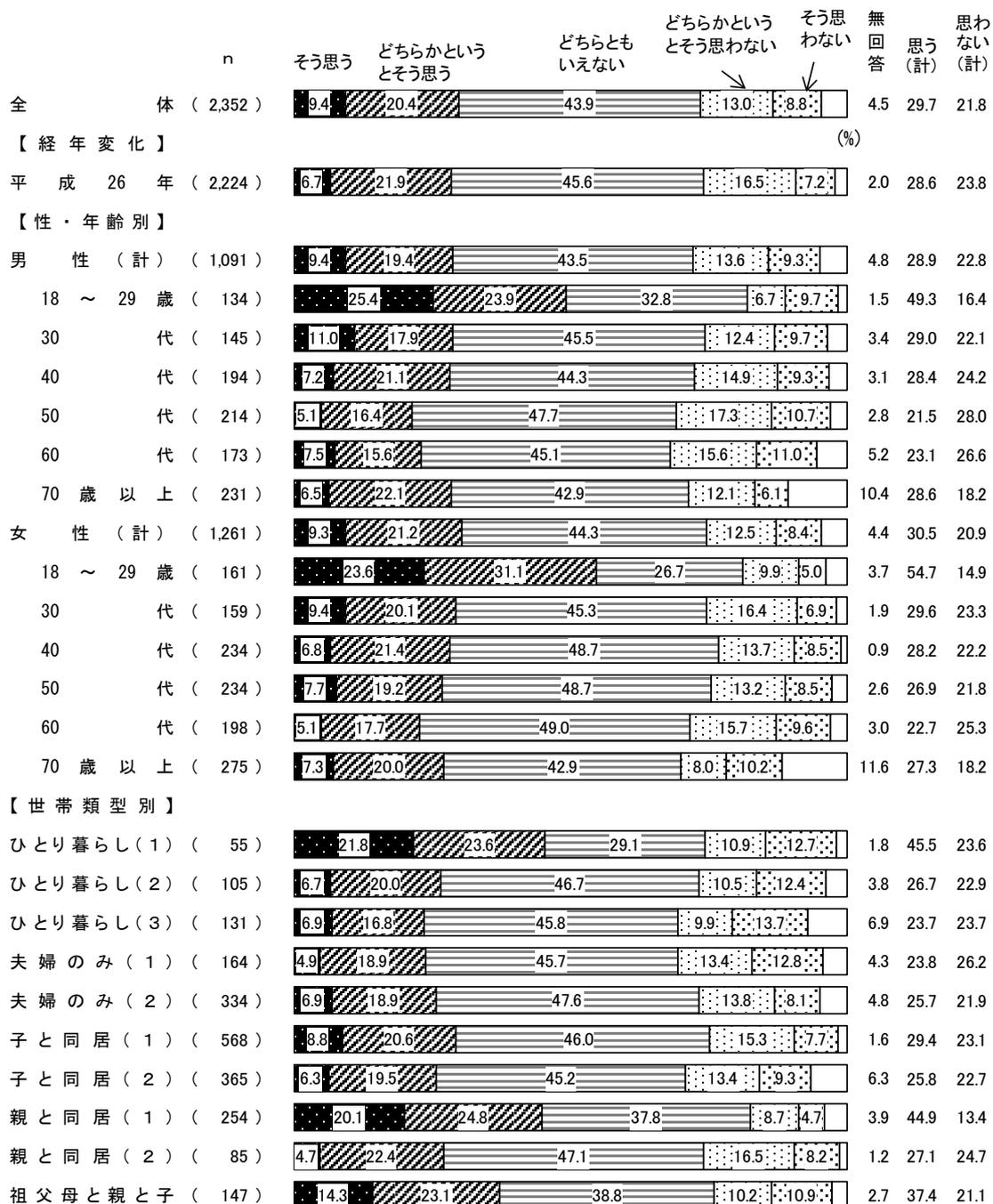
性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性18～29歳（54.7%）で5割半ばと多くなっている。

⑩情報化の進展による影響（エ）人と人とのつながりや交流が増える〔世帯類型別〕

『思う（計）』はひとり暮らし（1）、親と同居（1）で4割半ば

世帯類型別にみると、『思う（計）』はひとり暮らし（1）（45.5%）、親と同居（1）（44.9%）でともに4割半ばと多い。

図6-3-5 情報化の進展による影響（エ）人と人とのつながりや交流が増える〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑪情報化の進展による影響（オ）プライバシーが侵害される〔経年変化〕

『思う（計）』は大きな違いはみられない

経年変化をみると、前回の平成 26 年調査から『思う（計）』は 0.4 ポイント増加と、大きな違いはみられない。

⑫情報化の進展による影響（オ）プライバシーが侵害される〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性 30 代で 6 割半ば

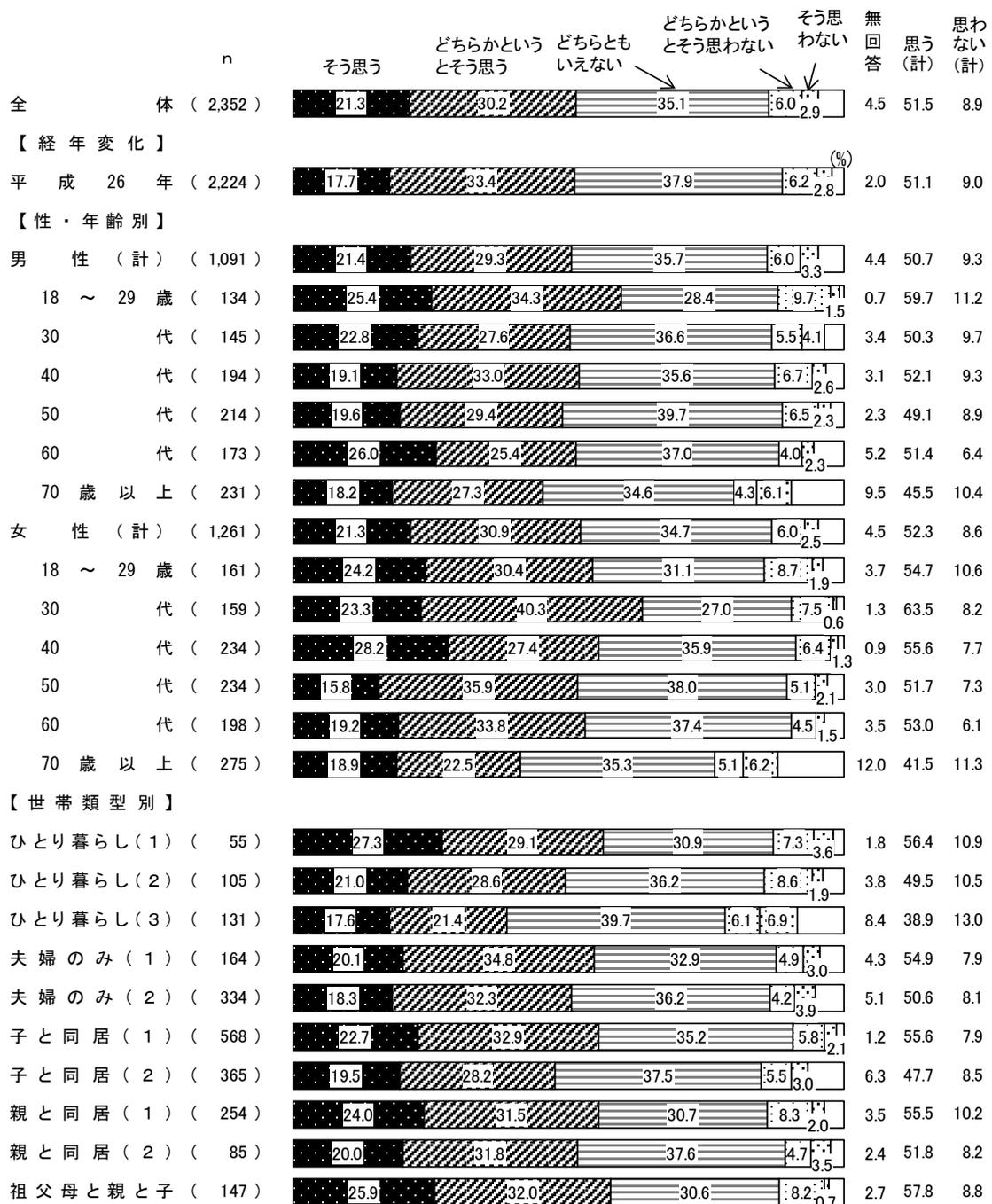
性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性 30 代（63.5%）で 6 割半ばと多くなっている。

⑬情報化の進展による影響（オ）プライバシーが侵害される〔世帯類型別〕

『思う（計）』はひとり暮らし（3）で 4 割未満と少ない

世帯類型別にみると、『思う（計）』はひとり暮らし（3）（38.9%）で 4 割未満と少ない。

図 6-3-6 情報化の進展による影響（オ）プライバシーが侵害される〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑭情報化の進展による影響（力）機械などが苦手な人が取り残される〔経年変化〕

『思う（計）』は2.0ポイント減少

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は2.0ポイント減少している。

⑮情報化の進展による影響（力）機械などが苦手な人が取り残される〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性40代で7割半ば

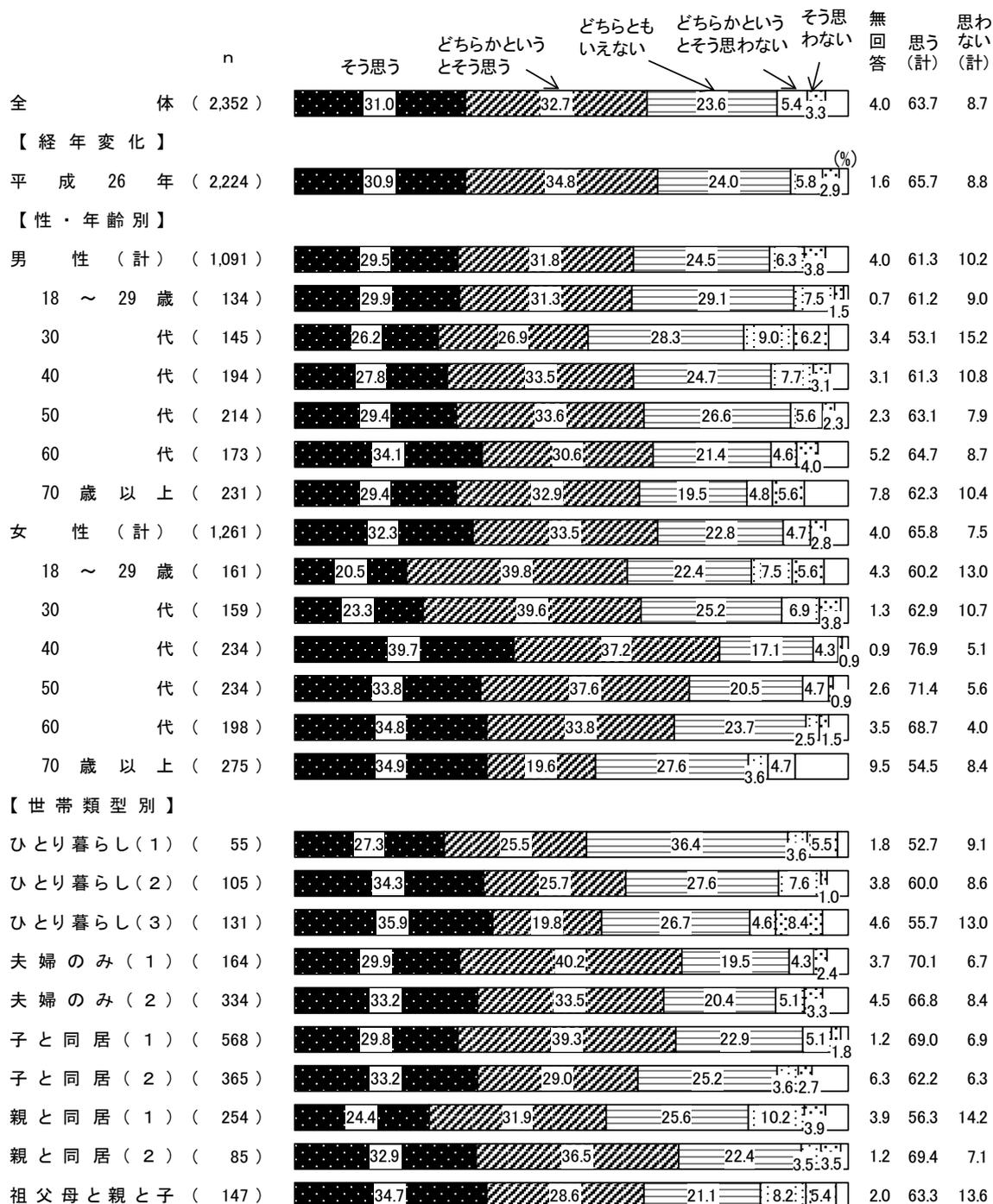
性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性40代（76.9%）で7割半ばと多くなっている。

⑯情報化の進展による影響（力）機械などが苦手な人が取り残される〔世帯類型別〕

『思う（計）』は夫婦のみ（1）で7割を超える

世帯類型別にみると、『思う（計）』は夫婦のみ（1）（70.1%）で7割を超えて多い。

図6-3-7 情報化の進展による影響（力）機械などが苦手な人が取り残される〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑰情報化の進展による影響（キ）子どもや青少年に悪影響がある〔経年変化〕

『思う（計）』は2.0ポイント減少

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は2.0ポイント減少している。

⑱情報化の進展による影響（キ）子どもや青少年に悪影響がある〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性40代で6割半ば

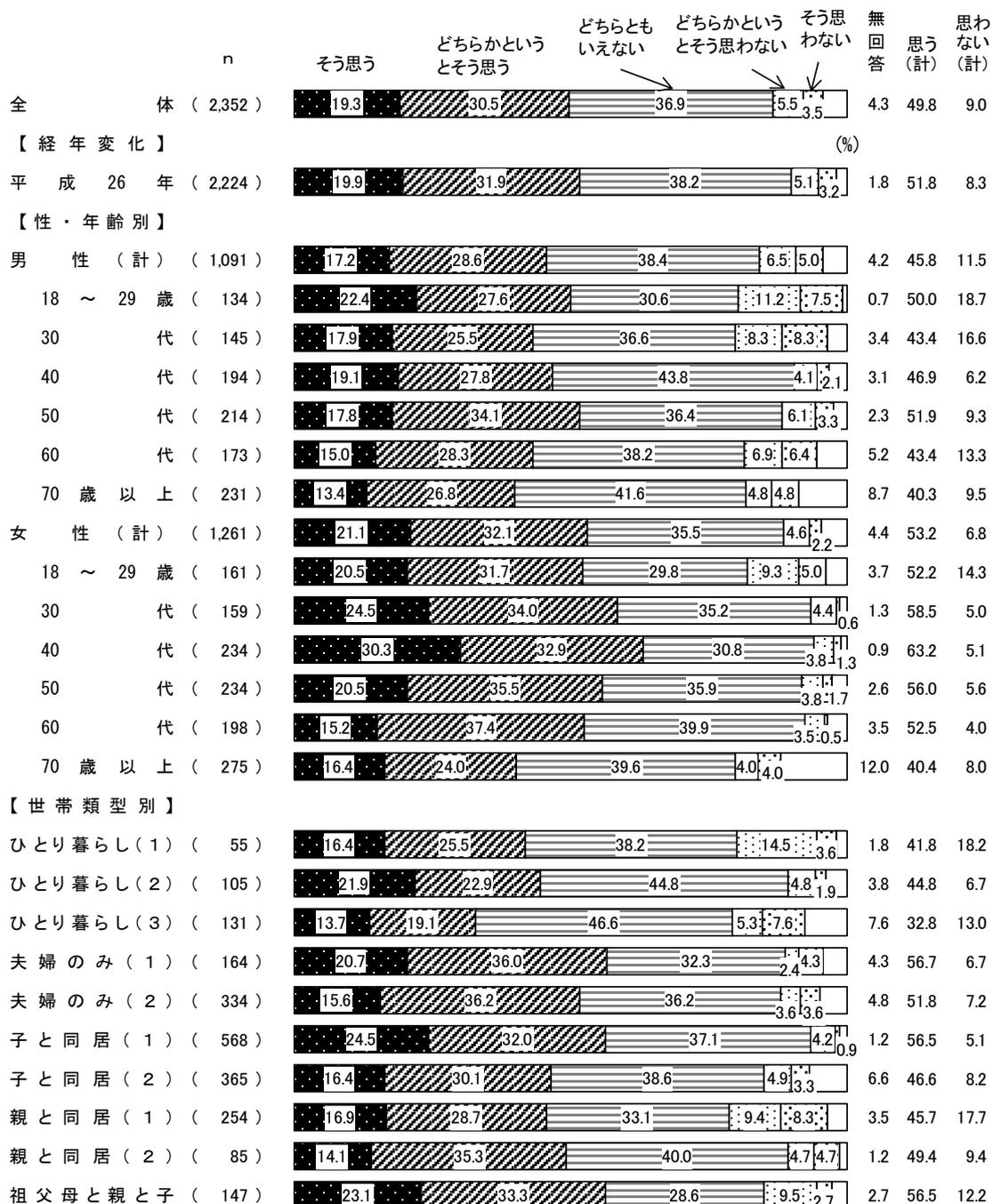
性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性40代（63.2%）で6割半ばと多くなっている。

⑲情報化の進展による影響（キ）子どもや青少年に悪影響がある〔世帯類型別〕

『思う（計）』は夫婦のみ（1）、子と同居（1）、祖父母と親と子で5割半ば

世帯類型別にみると、『思う（計）』は夫婦のみ（1）（56.7%）、子と同居（1）、祖父母と親と子（ともに56.5%）で5割半ばと多くなっている。

図6-3-8 情報化の進展による影響（キ）子どもや青少年に悪影響がある〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕



⑩情報化の進展による影響（ク）犯罪やトラブルに巻き込まれる〔経年変化〕

『思う（計）』は0.8ポイント減少

経年変化をみると、前回の平成26年調査から『思う（計）』は0.8ポイント減少している。

⑪情報化の進展による影響（ク）犯罪やトラブルに巻き込まれる〔性・年齢別〕

『思う（計）』は女性40代で6割半ば

性・年齢別にみると、『思う（計）』は女性40代（65.0%）で6割半ばと多くなっている。

⑫情報化の進展による影響（ク）犯罪やトラブルに巻き込まれる〔世帯類型別〕

『思う（計）』はひとり暮らし（3）で4割半ばと少ない

世帯類型別にみると、『思う（計）』はひとり暮らし（3）（45.8%）で4割半ばと少ない。

図6-3-9 情報化の進展による影響（ク）犯罪やトラブルに巻き込まれる〔経年変化、性・年齢別、世帯類型別〕

